

令和7年度 小樽双葉高等学校 学校自己評価書

自己評価と改善方策 ※おおむね妥当であるという評価をいただいた。

	評価の観点	アンケートの結果	今年度の反省	改善方策	関係者	第三者
学習指導	教員の授業力が向上した	教員授業を工夫していると思っ ているが、生徒・保護者は理解 度が上がったとの回答は低い	教員が考えているほど結果が伴 っていない	互見授業と外部研究会参加によ るによる授業のスキルアップを進 める	2.5	2.5
	生徒の学習に向かう姿勢が高ま った	学習に向かう姿勢が高まったとい う回答は不十分だった	学びの目的について十分な指導 ができていない	進路指導とタイアップして学習意 欲を高める指導を強化するととも に、資格試験の取得を奨励する	2.6	2.5
	生徒の家庭学習習慣が確立した	家庭学習の習慣が定着したとの 回答は低い	教員による家庭学習の習慣化の 取組が弱い	各教科で週末課題等家庭学習 促進の取組を具体化する	2.4	2.3
生徒指導	基本的な生活習慣は確立した	基本的な生活習慣の指導はおお むね良好であった	基本的な生活習慣の指導は成果 を上げた	今年度同様の取組を進める	2.8	3.0
	いじめ等の対応は適切だった	いじめに関して保護者の満足度 は低い	いじめ指導について、保護者へ の周知が不足していた	いじめ防止の取組について保護 者に周知プリントを配布する	2.6	3.0
	教育相談は機能した	生徒の評価は高いが、教員・保 護者の評価は低い	教育相談について教員・保護者 に十分周知されなかった	教育相談の理解を進めるよう 教員・保護者向けプリント等を 配布する	2.5	2.8
進路指導	進路情報は適切に提供された	生徒・保護者の評価は高いが 教員の評価は低い	教員が必要とする進路情報が 十分でなかった	教員向けの進路情報提供の頻 度を上げる	2.8	2.5
	個に応じた進路指導は適切だ った	生徒・保護者の評価は高いが 教員の評価は低い	教員の進路指導スキル向上の 取組が十分でなかった	チューター等による進路指導を 強化し、進路指導研修を実施す る	2.9	2.8
入試広報	SNS等を活用した広報活動は 強化された	学校からの発信はおおむね良 好の評価であった	SNS専任の更新担当により更 新頻度が上がった	今年度同様の取組とする	2.9	3.0
	本校の魅力が適切に広報され た	パンフレットの内容の評価は高 い	パンフレットは中学生にも好 評であった	ホームページなど中学生にア ピールできるものとするよう 検討する	2.9	3.0
学校経営	組織活動が強化された	組織的な活動について教職員 の評価は低い	定期的な分掌・学年会議は不 十分であった	定期的に分掌・学年会議を行 い改善に向けて計画的に取組 を進める	2.9	2.5
	開かれた学校づくりが進んだ	昨年度よりは評価は高い	10月に地域と協働の避難訓 練ができた	引き続き開かれた学校づくり を具体化する	3.0	2.8
	教員の資質が向上した	喫緊の課題等に関する校内研 修の評価は低い	教員の資質向上の研修は行っ たが十分な効果を取上げて ない	教員の言語環境を整え、アン ガーマネジメント等適切な部 活指導のための研修を強化す る	2.9	2.5

学校関係者からの意見

授業力向上のため、SNS等で外部に伝える試みなどはできないだろうか

生徒の学習に向かう態度を向上させるには、究極の課題であり本当に難しいが努力してほしい

学校外での学習は、生徒が必要を感じていないのであれば工夫が必要ではないか

進路情報のプリントは良かった

第三者評価者からの意見

教員とアンケートのずれを分析していることが大切である

学習意欲を高めること特に高校生は自主性を育むことを重視してほしい

学校における指導のベースを自己決定力の育成など意欲を高めるために指導に注力してほしい

生徒は挨拶がすがすがしいなど真面目で礼儀正しい印象がある

特進は潮陵に匹敵するという市民の評価もあるのでさらに実績を積みあげてほしい

小樽市の生徒減は続いていく、危機感を持って学校としての魅力づくりにしっかり取り組む必要がある